

2024年、御用納めの日。
今年1年おつかれさまでした。

年末年始のリフレッシュの
ご参考に。余暇に関して
河川課の紹介がありましたので、
これで今年のT-KETを
締めさせていただきます。

来年も、引き続き、
肩肘張らずに発行してまいります。
よろしく願いいたします。

後段は、それぞれ12月号の
巻頭言をチョイスしました。

県土整備部のみなさま、
よいお年をお迎えください。

支会だより

余暇を有効に活用して……！

河川課支会

私たちの職場から北西方向を見ると、ビルの谷間に、岩手の主峰、岩手山が見える。それから左の方向に目を移して行くと、高倉山と磐石スキー場が見えてくる。それにしても、最近、県庁の回りにも高い建造物が多くなり、県庁の中段に位置するそれぞれの職場では、目隠し状態となり四季によって変わる山野の美しい景色が見られなくなったのは非常に残念である。

さて、わが河川課は、幸い、今は何時でも、天気さえ良ければ、雄大な岩手山を拝見できる。我が輩も朝夕に一度はかならず見ている。特に晩秋になると、岩手山が白い帽子をかぶるのを、今か今かと心待ちして見るが多くなる。

なぜなら我が河川課には「リバース・スキークラブ」なるものが存在し、全職員の6割に当たる15名のクラブ員が、毎月せつせと、積立てをしながら、スキー・シーズンにそなえているからである。メンバーは、たとえば、北は、北海道出身のスキーのベテランから南は、四国の愛媛県は、宇和島出身の南国産までおり、スキーのスタイルや技術はもちろん、滑り方も千差万別で実にバラエティーである。また、ゲレンデを離れて夜に座敷にあれば、昨年そろえたお揃いのセーターを身にまとい、騒ぎもまたゲレンデ同様に実にはなやかである。

まずは、ゲレンデの話からすると、黒のスポーティなスキーウェアを着こなし、ブルーのゴーグルをかけ、かっこよく、そして、凄くスピードで滑降して行く若者がいると思って必死になって、ついて行くとゴーグルの奥に見える顔は、何とビックリ、我が河川課の主人(課長)なのである。とても五十路と思えない柔軟な身のこなしとスピード(河川課で一番速い)で、さすがはクラブの会長である。会長の次にキャリアが古く、その昔

河川課に、スキークラブ設立の種をまいたと自認しているのは、道産子の補佐であるが、最近では会長にはもちろん、教え子にもぬかれ、今年から新会員となった、河川調査係長と、ダム建設係の2人の道産子とは、差がつくばかり、最近では初心者と、中年組の「第2リバース・スキークラブ」を作ってはと訴えている。しかし、夜のお座スキーだけは、若者にぬかれたことはないようである。

次に高度なテクニックと技術、そして優雅なスキーを、誰に教わることなく身に付けたと言われるのは、ダム企画係長で、当課で一番上手な方であるが昨シーズンの手の骨折で今シーズンは自重しているようである。

安全スキーの見本であろうか、前後左右、そして上から滑って来ないかを確認し、次に下を見て自分で恐いと思ったら絶対滑べらず、恐くないと思うまで、10分、20分、30分、そして1時間、2時間と何時間でも待つのはスキーを始めて2年、四国は、愛媛産のスキーヤーである。

その他の者は、初級から上級までいるが、四十路に近づくにつれて、年々、衰えのめだつのは我が輩ぐらいで、あとの方は老いて盛んといった感じで、年々上達していくようである。

夜のお座スキーは、アルコールを飲むほどに話はずみ、よく口の方もすべるし、謡に踊りにと夜通し続く。最近では、当課出身のOBも加わって会員は多くなっている。

スキーばかりの話をしたが、スキーのほかに登山同好会なるものも存在し、会員も十数名を数え、今年は秋田県の鳥海山への県外遠征を含め、6回の登山を行っている。そのほか、屋外スポーツでは、それぞれの職員が個々に硬式テニスクラブや軟式テニスクラブ、またゴルフクラブに所属し楽しんでいる。屋内では、休み時間を利用して

の碁が盛んで何時もリーグ戦を行っているが、なぜか、女性マージャン師が居るにもかかわらず、マージャン人口が少なく、ジャン師は嘆いているようである。特異なレジャーの一つにパチンコがあるが、当課では、こよなくパチンコを愛する河川係長と、ダム建設係員の2人がおり、毎日かささず足をはこんでいる。どちらもプロ級と言うもっぱらの評判である。

以上、当課の余暇の過ごし方を紹介しました。私たち河川課支会員は、

- 『水五則』
- 一、自ら活動して他を動かしむるは、水なり
- 一、常に己の進路を求めて止ざるは、水なり
- 一、障害にあい激しく、その勢力を百倍し得るは、水なり
- 一、自ら濡らして、他の汚れを洗い、清濁併せ容るるの量あるは、水なり。
- 一、洋々として、大洋を充し発しては、蒸気となり、雲となり、雨となり、雪と変じ、霰と化し、凝っては、玲瓏たる鏡となり、而も其性を失わざるは、水なり。

〔黒田考高の水五則より〕

を、しっかりと認識し、人々の生命と財産を守るため、また、発展のため、河川改修、高潮対策、そして、ダム建設にと鋭意努力しております。

日常のスポーツ等は、あくまで仕事をするさいどんなに忙しくても、バテないような体を作っておくための手段であります。

仕事の合間の余暇を有効に利用して体力づくりと気分転換を計っているのが河川課である。

（頭の毛が薄くなった三十路プラ）ス六になる男、記



リバース・スキークラブの面々

引用：岩建1983年(昭和58年)12月号

＝巻頭言＝



三惚れの話

引用：岩建1981年
(昭和56年) 12月号

吉田 秀彦

昔から三惚れという話があります。

それは仕事に惚れよ、土地に惚れよ、妻に惚れよ、この三つができないような男は何をやってもモノにならないだめな人だという教訓である。

仕事に惚れるとはどんな仕事にも良い面と悪い面がある。他の仕事の良い面を見てうらやましいと思ひ、自分の仕事のつらい面をみて不幸だと思ひ性癖を持ってしまったら何をやっても仕事に身が入らないということである。

土地に惚れるということも同じことで、夫々の勤務地には、その地方でなければ得られないよさや尊さというものがあるはずだ。

また、その地方の人々に接して多くの知人や友人ができ、色々教えられることが多いと思ひます。

第三の妻に惚れよは今更言うまでもないことですが独身の皆さんは心構えとして……。

しかしながらかく言う私などは、今なお三つとも不十分で決してこの理論通りには行っていないので心の未完成を恥じるものであります。しかし、そういう気の起るときはいつもこの教訓を思い出してそうあらねばと反省している一人であります。

仕事と土地と家庭この三つの良さを認め、それを楽しくするように努力していけば人生の基礎は常に健全であろうと思ひます。

臨調第1次答申でも行政改革の基本課題として「変化への対応」「簡素化効率化」「信頼性の確保」を三つの柱としており、又最近特に公務員に対して世間の目が厳しい現状にあることから、私共公務にある者は積極的にその仕事に惚れること、すなわち仕事に熱と愛をもって真剣にあたる必要があるとあり、しかもそうする原動力となるものは自分の担当する公務のもつ意義と価値についてそれをよく認識し、かつ、くり返すことのできない大切な自己の歩むべき人生を自覚することであると思ひます。

台風15号等による災害復旧の年度内45%、消化、災害業務のための他の業務の遅れ、除雪等多忙な日が続きますが、健康に注意して「三惚れ」を忘れずに頑張っていきたいものである。

＝巻頭言＝



土木道無上

引用：岩建1979年
(昭和54年) 12月号

菅原 力彌

いろんな意味で有名な当県の初代土木部長大槻源八氏に県庁就職のご挨拶に伺った折のことである。小柄で坊主頭の眼光鋭い同氏が一人部屋におられた。勿論初体面緊張していた私が、型通りの挨拶の後だったと思う。話のつぎ穂に困り思わず「部長は宗教関係に造詣の深いお方ですか」と後で冷汗をかく程失礼な質問をしてしまったのである。多分坊主頭で枯れたお人柄の第一印象から僧侶を連想し、佛教に深いかかわりあひを持つお人かと思つての質問だったのだろう。苦笑されてから返ってきた言葉の中に、土木道無上誓願成の漢詩から引用されたらしい言語があり、さらにこんな商売をしていると（確かにこう言う言い方をしたと記憶している）、長い間には行きづまって神とか佛を考へるときがあるものだ、とのニュアンスのことを言われた。若かった私は、頭職にある部長の人間としての一面を覗いた思ひで深い共感と感銘を受けたのである。爾来30年、私の乏しい人生経験の中にも苦しい事も喜ばしいこともあつたし、今になお迷ひの多い日夜を過ごしているのである。しかしながら其の後この土木道無上が時には無常であり、ある時は私にとって土木道無情であつた。そして私なりの解釈でそのときどきを実感し過して来たのである。それが不図したときやはり私に關係した讚仏四弘誓願の七言絶句を見出し私なりに納得した記憶が残っている。不勉強の私にはその出典が何であつたかも知らないし知ろうともしなかつた。

たぶん何かの折に大槻さんが書かれた文に引用したものを見たのだと思ひます。まして正式な解釈も出来ないし、人に説く程不遜な気持も持っていない。ただ繰返し読んでみると誠に蕪切れがいいし何となく理解出来るような気がするのである。

衆生無辺誓願度

煩惱無趣誓願断

法門無尽誓願学

仏道無上誓願成

仏道を土木道と言ひ換へ、身近な表現として人生を示唆したものであることは明らかであろう。この詩を見ると若かった私の生きざまが生々しく回想され時には切ない思ひにかられることがあり、忘れられないものになってしまったのである。早いもので今年も師走を迎えた。全健全員の1人として組織と會員皆さんの誓願成ることを強く願つて止まないし、仲間の信頼を裏切らないよう今後も出来る努力は惜しまないつもりである。

来年も佳い年を迎えられんことを祈りながら。